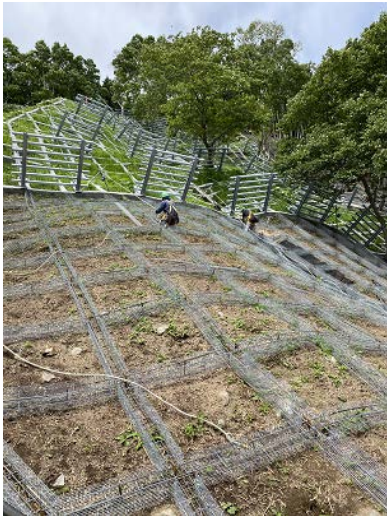


令和4年度 根室振興局 建設工事安全パトロールを実施



高所作業時の保安状況を確認
(林務課_所管@フリーフレーム工事)

令和4年8月4日（木）～5日（金）、根室振興局産業振興部（農村振興課・林務課・水産課）が発注する工事現場5カ所において安全パトロールを実施しました。例年、3課合同で実施しており、工事現場を直接視察し、建設工事の安全確保及び労働環境の改善を図ることを目的としています。

安全パトロールには、釧路労働基準監督署から奥田副署長、根室振興局からは岡嶋振興局長、川村産業振興部長、安藤地域産業担当部長など12名、また、根室管内建設業協会からもご参加をいただきました。現場事務所にて工事監督員、現場代理人より地区概要・現場管理状況の説明を受け、「保安対策」や「交通安全対策」など5つの点検項目について書類と現場の点検を行いました。

【実施現場】

- ① 林 務 課：松法川復旧治山工事（羅臼町）
- ② 林 務 課：岬町地区その2緊急予防治山工事（羅臼町）
- ③ 農村振興課：畑地帯(営農用水)西竹地区61工区（中標津町）
- ④ 農村振興課：草地整備中西別第2地区61工区（別海町）
- ⑤ 水 産 課：北海道太平洋東部地区落石沖合魚礁設置工事（根室市）

講評で、岡嶋振興局長からは“台風・大雨時期であることから、気象情報に注視してほしい”ことや“新型コロナウイルス感染対策の徹底”などについて、また奥田副署長からは“危険 SDS の取扱いについて応急処置の明示が的確になされていること”や“コロナ対策で密にならないよう、適切な間隔を確保する見える化の工夫”等について激励の言葉がありました。



コロナ対策のため、間隔・距離を見える化
(農村振興課_所管@営農用水工事)



鉄筋の保管状況等を点検
(水産課_所管@魚礁製作設置工事)

建設業における死亡者は近年減少傾向であるものの、全産業の約3割を占めています。近年では、度重なる自然災害など、地域の守り手である担い手の不足も深刻化していることから、発注者・受注者が互いに連携し、引き続き、労働安全衛生に対する機運の醸成が必要です。そのため農村振興課では、農業農村整備事業の計画的な推進のため、毎年度、各工事現場が無事故・無災害で終われるよう、より一層の安全対策や安全衛生教育等の取組を積極的に進めていく考えです。